

授業科目名	教育学研究法B
科目番号	CB11147
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋AB月3, 4
担当教員	長田 友紀, 京免 徹雄, 山本 容子, 朝倉 雅史
授業概要	原理、思想、歴史、学校研究、政策研究、国際比較、教科教育など、教育学のいずれかの分野または複数について扱う。担当教員が、自分の研究や最近の研究成果を題材に、どのように研究方法を活用しているかを解説し、その後、実際に受講者が調査や文献検討を行い、研究方法の活用力を習得する。
備考	教育学類生に限る。 実務経験教員 対面 ※必修科目
授業方法	講義、演習及び実習・実験・実技
学位プログラム・コンピテンスとの関係	教育学の基礎的体系的知識、教育学における総合的思考力
授業の到達目標（学修成果）	特別活動論、教育方法学、国語科教育の授業を対象に、実験・観察法の実際、意義と問題点、成果と展望を具体的な研究事例に即して、実習しながら考究できるようにする。
授業計画	文献レビュー、簡単な調査、聞き取り調査の練習、文献やインターネット等を通して得た情報の整理と検討などについて、実際に受講生が体験する。その上で、授業で報告を行い、最終的に成果をレポートにまとめる。 第1回 オリエンテーション 第2回 教育学の研究領域 第3回 特別活動論の基礎理論 第4回 特別活動論における研究方法論 第5回 特別活動論における教材研究 第6回 特別活動論における指導方法 第7回 特別活動論における授業分析 第8回 討論 第9回 理科教育の基礎理論 第10回 理科教育における研究方法論 第11回 理科教育における教材研究 第12回 理科教育における指導方法 第13回 理科教育における授業分析 第14回 討論 第15回 国語科教育の基礎理論 第16回 国語科教育における研究方法論 第17回 国語科教育における教材研究 第18回 国語科教育における指導方法 第19回 国語科教育における授業分析 第20回 まとめ
成績評価方法	毎回のコメントシート50%、各教員より出されるレポート50%、
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(50%)と演習(50%)を併用する。

教材・参考文献・配付資料等	各担当教員より、授業時に指示および資料配布する。 1. 『日本の授業研究(上・下)』．学文社. 2. 『授業研究法入門』．図書文化. 3. 『授業研究と学習過程(放送大学教材)』．放送大学教育振興会.
オフィスアワー等（連絡先含む）	長田 友紀 0H:水3限 人間系棟B424 osada.yuki.gm at u.tsukuba.ac.jp 京免 徹雄
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	2020年度は、オンデマンドで実施する。授業期間中は、manabaを参照のこと。 講義順序を変更することがある。出席状況を重視するとともに、学校現場における授業観察や学習補助に参加することがのぞましい。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	授業研究，授業分析，指導と評価